



2021年10月28日

各位

会社名 株式会社ゼネラル・オイスター
代表者名 代表取締役社長 吉田 秀則
(コード番号：3224 東証マザーズ)

問合せ先 経営管理本部 芝田 茂樹
取締役 CFO

(TEL. 03-6667-6606)

資金用途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2019年11月13日付「第三者割当により発行される無担保転換社債型新株予約権付社債及びコミットメント条項付き新株予約権の発行に関するお知らせ」にて開示しました第1回無担保転換社債型新株予約権付社債（以下、本転換社債）及び第8回新株予約権（以下、本新株予約権）につきまして、下記のとおり資金用途を一部変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、2019年11月29日を割当日として、本転換社債及び本新株予約権を発行し、既存銀行借入返済による財務基盤強化を行い、設備更新投資や成長投資に要する資金を確保する予定でありました。

しかしながら、2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大により、売上が大幅に減少したため、手元資金の確保が当社の最重要課題となりました。従いまして、本転換社債及び本新株予約権により調達した資金を既存銀行の借入返済や設備更新投資へ充当する金額を最小限に抑制し、一旦留保しておりました。

今般、当初資金用途の支出予定期限が一部到来することから、当社取締役会において、資金用途の見直しを協議し、「2.変更の内容」とすることを決議しました。

本新株予約権の資金用途につきましては、既存銀行借入の返済以外の設備更新投資や成長投資への充当を取り止め、運転資金へ充当することと致しました。10月以降新規感染者数が全国的に減少しておりますが、今冬の「第6波」を懸念する報道も多く、未だに収束時期の見通しが立たない状況です。従いまして、今後新型コロナウイルスの影響から売上が減少する場合に備え、人件費及び地代家賃等の固定費にかかる運転資金に充当致します。当該運転資金に充当する83百万円は、2021年9月の固定費が88百万円（内訳：人件費56百万円 地代家賃32百万円）であり、約1か月分相当額となります。また、既存借入の返済時期につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大による資金繰りへの影響に鑑みて、今後充当期を検討するため、支出予定時期を2021年10月から2022年10月に変更致しました。尚、本新株予約権による資金調達額につきましては、本新株予約権の当初の行使価額1094円から842円に変更したことにより、640百万円から493百万円に減少しております（行使価額変更の詳細内容は、2020年6月3日付「第三者割当による第8回新株予約権の行使価額の修正決定に関するお知らせ」をご参照下さい）。

本転換社債の資金使途につきましては、当初 55 百万円を 4 店舗の老朽化に伴う全面改修のための設備更新投資に充当する予定でしたが、当該内容を一部変更致します。1 店舗の全面改修更新投資（防水工事等）に 23 百万円を充当し、システム更新費（22 店舗のモバイルオーダーシステム導入費）に 22 百万円充当し、3 店舗の一部設備更新投資に 10 百万円充当する予定と致します。また、充当時期につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による資金繰りへの影響に鑑みて、今後充当時期を検討するため、支出予定時期を 2021 年 10 月から 2023 年 3 月に変更致しました。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は、以下のとおりとなります（変更箇所は下線で付しております）。

(1) 本新株予約権の資金使途の変更内容

【変更前】

具体的な使途	金額	支出予定時期
①既存銀行借入の返済	410	2019 年 11 月～ <u>2021 年 10 月</u>
②設備更新投資	<u>55</u>	<u>2020 年 4 月～2022 年 3 月</u>
③成長投資	<u>175</u>	<u>2020 年 4 月～2022 年 3 月</u>
合計	<u>640</u>	

【変更後】

具体的な使途	金額 (内、充当済み金額)	支出予定時期
①運転資金	<u>83 (83)</u>	<u>2021 年 10 月</u>
②既存銀行借入の返済	410 (150)	2019 年 11 月～ <u>2022 年 10 月</u>
合計	<u>493 (233)</u>	

(2) 本転換社債の資金使途の変更内容

【変更前】

具体的な使途	金額	支出予定時期
①運転資金	45	2020 年 3 月
②設備更新投資	55	2019 年 11 月～ <u>2021 年 10 月</u>
合計	100	

【変更後】

具体的な使途	金額 (内、充当済み金額)	支出予定時期
①運転資金	45 (45)	2020 年 3 月
②設備更新投資	55 (0)	2019 年 11 月～ <u>2023 年 3 月</u>
合計	100 (45)	

3. 今後の見通し

上述の資金使途の変更が2022年3月期業績に与える影響は軽微ではありますが、業績予想値は、新型コロナウイルス感染症による影響で先行き不透明なことから、適正かつ合理的な算定が困難なため未定とさせて頂いております。今後、新型コロナウイルス感染症拡大の動向を注視しながら、業績予想が可能となった段階で速やかに公表致します。

以上